

教育の基本方針

【教育目的】

豊かな人間性を育み、看護に必要な知識、技術、態度を修得し、社会に貢献できる、看護師を育成する。

【教育目標】 【ディプロマポリシー】

1. 人間関係を形成するためのコミュニケーション能力を修得し、規律・礼儀を考え行動できる。
2. 倫理に基づいた看護を実践できる。
3. 看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を持つことができる。
4. 保健・医療・福祉における自らの役割および他職種の役割を理解し、多職種と連携・協働できる。
5. 国際化へ対応しうる能力、情報通信技術（ICT）を活用するための基礎的能力を身につけることができる。
6. 専門職業人としての自覚と責任を意識し常に看護への探求心が持てる。

【カリキュラムポリシー】

教育理念とディプロマポリシーを達成するために以下のようなカリキュラムを編成します。

1. 能動的に学ぶことができるように、授業ではディスカッション、ディベート、グループワークなど主体的に対話を重視した学びを多く取り入れ、また異学年の交流活動を行うことで、協調性、倫理的態度、リーダーシップを身につけることができるよう編成します。
2. 目的意識を持ち、振り返りを繰り返しながら、学習・実習に取り組み、自己成長できるよう編成します。
3. 実習では実習病院と連携し指導を充実することで、臨床において看護技術を実践することができ、体験を通じた看護技術実践の強化に努めます。
4. 学修成果の評価は、授業科目のねらいや授業目標にあわせ筆記・技術試験・レポート等で適正な評価を行います。加えて、看護技術や実習においては、ルーブリック評価を用いることで到達度を可視化し、自己教育力を育むとともに、総合的な評価を行います。
5. 学修成果の評価および学生自らの授業への取り組みの主観的評価、学生における授業・卒業時アンケート結果、就職先へのアンケートなどを活用し、教育方法の改善につなげます。

【アドミッションポリシー】

次のような人の入学を歓迎します。

1. 人と関わるのが好きで相手を思いやることのできる人
2. 看護師になって働きたいという明確な意志を持つ人
3. 他者と協力し活動するために、他者と建設的な意見交換ができる人
4. 目標に向かって物事に粘り強く取り組み、やり抜く力がある人
5. 自己の生活を整え、心身共に健康管理のできる人

入学者選抜の実施にあたっては、入学試験および高等学校における調査書や面接などを用いて、多面的・総合的に評価します。